

プログラム期間 2020年10月から2021年2月

チーム応募
歓迎!



第5回ブロックチェーン学生起業家 支援プログラム 参加者募集

ブロックチェーン技術を用いた起業を支援するプログラムです。2020年10月から2021年2月の約4ヶ月半の期間中、参加学生は自身でブロックチェーンに関連する事業の立案と、アプリケーションの実装を行います。

事業案例:

- ・ ブロックチェーンを活用した新たな金融機能(決済/送金/ファイナンス/信用判断/認証等)
- ・ 権利証明サービスへの適用のためのブロックチェーン技術の開発と、多様な家族関係証明サービス(eg. 婚姻証明書)への実践活用
- ・ ブロックチェーン技術のスポーツビジネスへの実践活用
- ・ その他自分自身で取り組みたい事業テーマ



10月

11月

12月

1月

2月

進捗報告会

進捗報告会

進捗報告会

最終報告会



人的サポート

最高の講師陣

上場企業、ベンチャーキャピタル、ベンチャー企業、Tech系企業、ブロックチェーン専門企業、法律家などで構成されるパートナー企業、協力企業・団体から事業立案、アプリ開発など様々なアドバイスを受けることができます。

実際の事業化につなげます

参加企業とコラボレーションを行い、実際の事業化につなげていきます。



環境サポート

本郷キャンパス内にある専用スペースの使用権が与えられます。専用スペースは、グループワークで利用できるスペースの他、完全個室で知的活動に集中できるスペースが提供されます。

※ 新型コロナウイルス感染の状況によって専用スペースが提供されない場合もあります。



専用スペースでは大型4Kモニターを完備。昇降机や高級チェアなど快適な作業空間を提供します。



資金サポート

報酬

最大90万円(チーム応募)

最大45万円(個人応募)

参加者(参加チーム)には、プログラム期間を通して報酬が支払われます。チーム応募の報酬はチーム人数により異なり、最大90万円まで支給されます。

チーム予算10万円

報酬と別途、10万円の予算が与えられます。参加者はこの予算をプログラム期間中に自身の事業計画立案、アプリケーション開発のために使用することができます。チーム、個人参加に関わらず同額となります。

対象

プログラム期間中、学生(大学生、大学院生、専門学生、高校生、高専生、...)であること
個人またはチームでの参加
採用:5チーム程度

東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻
ブロックチェーンイノベーション寄付講座
<https://www.blockchain.t.u-tokyo.ac.jp/pg2020w@blockchain.t.u-tokyo.ac.jp>



応募方法

課題A, 課題B, 課題Cの少なくとも1つを提出してください。課題の成績により選考の次のステップに進むことができます。

早期応募締め切り: 2020年8月23日(日) 24:00

応募締め切り: 2020年8月31日(月) 24:00

可否結果は、9月中旬頃までにご連絡します。

※ 早期応募締め切りまでに提出されると選考に有利です。

課題A

- (1) ブロックチェーンを用いたアプリケーションを提案し、想定しているターゲット利用者、ビジネスモデルを説明してください。
- (2) そのアプリケーションはなぜブロックチェーンを採用したのか、他のシステムを採用しブロックチェーンを使用しなかった場合と比べメリット・デメリットを列挙した上で理由を記述してください。その際、他システムは具体的にどのようなシステムを想定したのかを明らかにしたうえで比較を行ってください。
- (3) そのアプリケーションについて開発を行い、以下の(i) (ii) (iii)を提出してください。メインネットなどの本番環境にてデプロイを行うことはせず、テストネットやローカル環境にて開発を行ってください。
 - (i) 実装を行ったソースコードを提出してください。
 - (ii) 動作方法、即ちどのような環境・手順でビルド、実行できるのかの説明書きを提出してください。動作環境(Mac, Ubuntuなど)、動作環境の構築のための手順も必要です。環境構築用のスクリプト(シェルスクリプトや、Ansibleなど)があると好ましいです。採点者がビルド、実行できない場合は採点されない場合があります。
 - (iii) 今回実装できなかったところについては、今後の追加開発を行う際の展望を記述してください。

※ (1)に記載する内容について必ずしもすべて提出ソースコードに実装されている必要はありません。(1)では自分が考えた理想的なアプリを提案し、(3)におけるアプリの実装においては、限られた時間の中で自分が必要だと考える機能の優先順位を考え、優先度の高い順番に実装を行ってください。

課題B

Bitcoin Core <https://github.com/bitcoin/bitcoin> に関する以下の問いに答えてください。

- (1) 「マルチシング」とは何か、何のための仕組みでユーザーはどのように利用するのかを記述してください。
- (2) なぜ安全に利用ができるのかをできるだけ詳細に記述してください。
- (3) Bitcoin Core内でマルチシングに関する処理を行っている部分を特定し、そこでの処理の目的(何のための処理か)と、処理内容(どのように実装しているか具体的なアルゴリズム)についてソースコードの場所を参照しつつ解説してください。複数箇所ある場合はすべてについて述べてください。また、それぞれの箇所の関連性についても記述してください。
- (4) 現状のBitcoin Coreにおけるマルチシングをよりセキュアにするにはどのような方法が考えられるか述べてください。さらにそれをBitcoin Coreに実装してください。提出物にはソース上のどここの場所をどのように修正したのかわかる情報も含めてください。

課題C

あなたが、すでに何かしらのソフトウェアプロダクト開発を行った事がある場合はそのソースコードを提出してください。GitHubなどで公開されているプロジェクトの開発を行っている場合はそのURLを、そうでない場合はコードとドキュメントを提出してください。ただし、当プログラムのために新しく作成したものではなく、前々から開発しているものに限りです。複数人で開発を行っている場合は、自分のプロジェクトの寄与度がわかるような説明も一緒に提出してください。

※ ここで提出されたソースコード、ドキュメントは選考のみに使用されその他の目的に使用されることはありません。

※ ブロックチェーン関連のプロダクトでなくても構いません。

提出方法

以下のメールアドレス宛に、課題の回答がダウンロードできるようにクラウドストレージなどのURLをお送りください。クラウドストレージサービスはDropbox, Google Driveなど、どのサービスでも構いません。一方、メールに直接zipなどでまとめて添付することは避けてください。提出の際には、履歴書(大学名, 学部, 学科/大学院名, 研究科, 専攻など現在自分が所属している学校の情報と学年, 氏名, 顔写真, 住所, 連絡先を含む)も添付してください。

提出先: pg2020w@blockchain.t.u-tokyo.ac.jp